（別紙4（2））

事業所名：　グループホーム　コーヒーの家・紅茶の家

目標達成計画

作成日：　令和元年10月29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 （3）	運営委員会議における身体拘束適正化委員会の開催内容が分かりづらかった為、委員会内容が分かるよう議事録への明確な記録が望まれる。	計画・実施（実行）した事が第3者にも理解できるよう記載する。	決定した項目や概略ではなく、各委員の意見等経過を詳細に明記し、出席されていないご家族・スタッフにも説明・報告する。	2ヶ月
2	35 （13）	定期的に避難訓練を実施しているが、消防署からの講評やホームの反省点をより詳しく記録に残すことが望まれる。また、ハザードマップを掲示し、職員だけでなくホーム来訪者も避難ルートや危険箇所等を日頃から把握できるよう取り組むことが望ましい。	近年の災害でハザードマップの重要性を再認識し、避難、非常時の対処等を周知徹底し、入居者・スタッフの安全を確保する。	火災の避難訓練は年2回実施し、それに併せて災害訓練も実施し、スタッフには周知徹底する。また、入居者のご家族にも説明し、理解して頂く。 災害時の避難先は諫早東高校	1回目 1ヶ月 2回目 6ヶ月
3	52 （19）	共用空間の空調の設定温度について適切に管理する事が望ましい。	季節、日々に応じて適正温度にして保つ。	午前・午後共用部の室温を管理日誌に記入し、意識を高める。（日誌記入者が行う）夜間は居室の室温を個人差で設定する。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。